

全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会 平成 28 年度活動報告

1 総会

(1) 第 11 回総会

平成 28 年 6 月 6 日、「TKP 東京駅前会議室」（東京都中央区）において、正会員 90 名中 61 名(含：委任状提出)の参加を得て開催し、平成 27 年度の活動及び会計報告、平成 28 年度の活動計画が承認された。

また、議事以外では「表彰制度」において、「青山裕史氏（油藤商事(株)専務取締役）」のこれまでの取組に対して表彰をした。（表彰対象となった同氏取組みは、後述の「話題提供」時に表彰講演として披露した。）

なお、任期中の組織内移動による役員交代の報告があった。

(主な議事) 第 1 号議案：平成 27 年度事業及び決算報告について

第 2 号議案：平成 28 年度事業計画及び収支予算について

報告事項：表彰対象者及び役員交代について

2 幹事会

(1) 第 25 回：平成 28 年 5 月 9 日（京都市）

総会に資する前年度の報告、本年度の事業計画等について検討・確認がなされた。

(主な議事) 1. 平成 27 年度報告について

2. 平成 28 年度に向けて

3. 今後の予定

(2) 第 26 回：平成 28 年 12 月 7 日（東京都中央区）

本年度前半の活動内容の確認と今後の活動に対する方向付けについて議論・検討を行った。

(主な議事) ○平成 29 年度のこれまでの活動に関する対応について

3 監査

(1) 平成 27 年度会計監査

平成 28 年 5 月 16 日及び同月 20 日の 2 回に分けて、監査を実施した。

(監査結果) 第 11 回総会にて監査報告を行った。

4 専門委員会

(1) 技術指針委員会

- ① 委員会開催について
 - ・委員長はじめ、委員選定について日程調整等が整わず、開催に至らなかった。
- ② 品質確認制度における分析について
 - ・分析の実施：分析機関が決定しており、順次分析を進めた。
 - ・分析結果評価については、検体の性状結果は比較的安定していたことから、事務局中心に年度末に一括して行った。

(2) 原料拡大委員会

平成 29 年 11 月 16 日に関係者が会して、これまでのまとめと今後の方向付け等を検討した結果、これまで家庭系廃食用油回収を中心として整理してきたところを成果物として報告することとした。

(3) 企画実行委員会

- ① 第 1 回委員会：平成 28 年 6 月 7 日（東京都中央区）

本年度の委員会としての活動を確認し、具体的に「セミナー」開催を実行すべく、内容とスケジュールの議論・検討を行った。

(主な議事) 1. 平成 28 年度の事業計画について
2. 今年度の活動について
- ② 第 2 回委員会：平成 29 年 1 月 26 日（東京都）

第 26 回幹事会からの指摘を受け、その対応を議論・確認し、今後の対応や役割を決定した。

(主な議事) ○ 本年度の催事実施に関する確認
- ③ ヒアリング調査：平成 29 年 3 月 16 日（神戸市）

第 2 回委員会の検討結果により、本年度検討してきた「B5 の利用促進に向けたセミナー」に際して、課題の一つである税制に対する兵庫県の減免制度を理解することを目的に、委員が兵庫県庁に出向き面談ヒアリング調査を行った。

【概要】平成 26 年 4 月創設の兵庫県における軽油引取税免除手続きの創設経緯、申請手続き等について聞き取り、地域の取組み支援の一環として創設したことや、県内で製造されたバイオディーゼル燃料を用いて、県内で製造された B5 軽油を県内で購入したものに対し、B5 軽油のバイオディーゼル燃料部分の軽油引取税が課税免除され、兵庫県バイオマス総合利用計画の最終年度（平成 33 年度）末まで実施されることが確認できた。

5 行事等

(1) バイオディーゼル燃料取組実態調査の実施

平成 28 年 8 月～11 月にかけて、バイオディーゼル燃料に取り組んでいる事業者(会員以外を含む)を対象に、平成 27 年度(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)の取組実績について調査を実施し、64 事業者から書類回答を得たが、特に燃料製造事業者からの積極的回答が少なく、電話聞き取り等も加えることとなった。

その結果、バイオディーゼル燃料生産量は大きく変動していなかったが、次年度は調査回答協力に強い呼びかけを図りたい。

(2) 話題提供の開催

○ 平成 28 年 6 月 6 日(東京都)

59 名の参加を得て、最近の行政の動きについて農林水産省からの話題提供の後、第 11 回総会にて表彰された青山裕史氏に受賞記念講演としての講演と、事業者等から 5 件の話題提供を行った。

話題提供後には意見交換・交流会を行った。

* 内容：

① 表彰受賞記念講演／青山裕史氏(油藤商事(株)専務取締役)

「ガソリンスタンドは まちのエコロジーステーション」

② 話題提供

・「グリセリン活用と発電機へのバイオディーゼル燃料利用」

／(株)アレフ

・「バイオディーゼル燃料が国内で普及しない本当のわけ」

／(株)レボインターナショナル

・「地域バイオディーゼル流通システム技術実証事業」概要報告

／(一社)日本有機資源協会

・「十勝圏における燃料供給体制(補助事業の成果)」／(株)エコ E R C

(3) その他の情報・意見交換会等

平成 28 年度については、企画実行委員会で情報交換会を企画したものの、幹事会からの指示で内容の充実を再考したため延期した。

また、個別面談による情報交換以外で目立った活動としては、菜の花プロジェクトネットワークにおける全国行事及び北海道庁の催事に参加して終了した。

(以下、主な催事)

○第16回全国菜の花サミット in 奈良

開催日：平成28年4月9日～10日（奈良県桜井市ほか）

関連団体である「菜の花プロジェクトネットワーク」との情報交換・交流を図るため事務局が参加。

初日は、全国からの事例報告、薬師寺の山田管主の講演、パネルディスカッションがあり、続いて参加者同志の情報交換を行った。

二日目は、複数の分科会のうち、「奈良のエネルギー」を題材とした葛城会場に参加し、県のビジョンや事業者等からの事例報告があった。

○北海道「バイオディーゼル燃料利用促進セミナー」

開催日：平成29年3月22日（北海道帯広市）

北海道が定期的で開催する「バイオディーゼル燃料利用促進セミナー」に参加し「全国的利用状況と可能性」と題して車両、災害対応、建設重機などの情報を提供し、セミナー後に参加者と情報交換・交流を持った。

6 その他

(1) ホームページの運用等

(一社)日本有機資源協会ホームページ内の全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会専用ページに、総会の開催と結果報告や実態調査についての協力の呼びかけ、事例発表会（話題提供）などの行事等の開催案内と報告などを掲載したが、次年度は情報開示量に工夫が必要である。

(2) 相談室業務ほか

バイオディーゼル燃料化事業の円滑な普及・発展を図るため、本協議会に設置した「相談室」への問い合わせや電話及び面談等に対応した。